



2012.11 vol.19

SEASON



ISSN 1349-3760

創価大学図書館 浅山 龍一館長『魯迅に思う—「中国館」開設を祝しつつ—』… 2

特集 WLC/AV ライブラリーのご紹介 … 4

図書館からのお知らせ … 6



開設を
祝しつつ
図書館長 浅山龍一

本年7月3日に中国政府より「日本交正常化40周年」を記念し、日本で唯一、創価大学に1500冊の中国図書が贈呈された。これに伴い、大学の中央図書館内には、新たに「中国館」が設置され、贈られた書籍は順次ここに収められる。今後、さらに1500冊が届く予定である。まことにおめでとうございます!創立者池田先生の日中友好への

顔色も同じだ。・・・おれを食おうとしている。・・・原因は、おれが20年前に古久さんの帳簿を蹴飛ばしたこと。・・・親に教えられて子供たちもそういう顔をしている――のように思い詰めた主人公の視点からすれば、弱肉強食の社会は多分、「人食い」に見えるのだ。

これは、人間社会のあるべき調和と振る舞いを説いた儒教道徳の国には考えられない展開である。軍事的にも精神的にも西欧近代文明に圧倒される中、中国文明が崩壊しつつあるのがよく分かる。主人公は「ここは」四千年以来いつも人を食つてきたところ」とまで言い、最後に「子供を救え!」とつぶやいて終わる。中国にとつて冒流とも言える発言だが、ノイローゼに陥つた人間の心の動きをよく描いたともいえる。

次の『阿Q正伝』(1921年)では、強者のもとで要領よく立ち振る舞う阿Qの生き方が描かれていた。たとえば、強い相手に出会つたときのめされたとき、「息子にいぐられたようなもの」と自分に言い聞かせられ、耐えられる。ムシャクシ

ご貢献が高く評価されたわけである。なお、すべて中国語なので、とくに中国語を学ぶ学生の皆さんには奮つてこれらの書籍を活用していただきたい。今回の贈呈の件は7月4日付『人民網日本語版』(中国共産党機関紙『人民日報』の日本語版)にも紹介されている。

さて、その数日後に中国からの交換教員の先生とお話する機会があります!創立者池田先生の日中友好への

私は重ねて質問した。「狂人日記」の主人公や阿Qの生き方をみると、狂気じみていたり、する賢く生きたり、決して模範的とは言えません。彼らの物語を掲載するのは中国人にとって教育的ではないのではないか。なぜ、教科書に取り上げるのですか。なぜ、教科書に取り上げるのですか。」すると、教授は「人間にについて言いにくいことを書くのがすごいのです」と逆に評価した。なるほどと思った。創立者も「特別文化

私は重ねて質問した。「狂人日記」の主人公や阿Qの生き方をみると、狂気じみていたり、する賢く生きたり、決して模範的とは言えません。彼らの物語を掲載するのは中国人にとって教育的ではないのではないか。なぜ、教科書に取り上げるのですか。」すると、教授は「人間にについて言いにくいことを書くのがすごいのです」と逆に評価した。なるほどと思った。創立者も「特別文化

り、中国の作家・魯迅について聞いてみた。今回の贈呈図書にも彼の全集が入っている上、創立者が「特別文化講座」(2005年3月)で論じられたこの作家が実際のところ、中国人にとつてどういう存在になります。魯迅は中学や高校の教科書に必ず入っています。中国は統一教科書なので、それほど中国にとって重要な作家なのである。『狂人日記』や『阿Q正伝』が掲載されているという。「私は魯迅以上の中国の作家を知りません」とも言われた。

私は重ねて質問した。「狂人日記」の主人公や阿Qの生き方をみると、狂気じみていたり、する賢く生きたり、決して模範的とは言えません。彼らの物語を掲載するのは中国人にとって教育的ではないのではないか。なぜ、教科書に取り上げるのですか。」すると、教授は「人間にについて言いにくいことを書くのがすごいのです」と逆に評価した。なるほどと思った。創立者も「特別文化

講座」の中で、「人間が変わらなければ、いくら政治の看板をええても、かえつて支配の道具に使われてしまふだけだ。ゆえに、まず、人間の精神を変革せよ!これが魯迅先生の結論であった。・・・魯迅文学は、まさに『人間革命』の文学であつたのである」(P・58)と述べておら

る。打つたのは強い自分で、打たれたのは別の弱い自分のようなり、自分が勝つたような気分になり、満足する。何という解決法か!一方、自分より弱い者を見つけると悪口を言つたり、攻撃したりして、いい気持ちになる。仏教でいう「畜生的生き方」――強者におもねり、弱者には横柄に出る態度――であるが、魯迅は「奴隸根性」と呼んでいる。そして、都合が悪くなると村を逃げ出す。強そうな者にとり入つて裕福になつて戻つてくる。その姿をみた村人たちは、彼の機嫌をとり始める。彼らも、「奴隸根性」を見せているのだ。そして、(辛亥)革命党の旗色がよいと、皆、革命党に入ろうとする。が、なぜか、阿Qは入れてもられない。物語の後半。ある金持ちの家に泥棒が入り、阿Qは疑いをかけられ逮捕される。そして銃殺刑で死ぬ。「助けて」という言葉を残して・・・。何ともはや、やりきれない作品である。イソップ物語の蝙蝠の話――蝙蝠が、ネズミでもなければ鳥聞かせれば耐えられる。ムシャクシ

やして自分で自分をなぐることもある。打つたのは強い自分で、打たれたのは別の弱い自分のようなり、自分が勝つたような気分になり、満足する。何という解決法か!一方、自分より弱い者を見つけると悪口を言つたり、攻撃したりして、いい気持ちになる。仏教でいう「畜生的生き方」――強者におもねり、弱者には横柄に出る態度――であるが、魯迅は「奴隸根性」と呼んでいる。そして、都合が悪くなると村を逃げ出す。強そうな者にとり入つて裕福になつて戻つてくる。その姿をみた村人たちは、彼の機嫌をとり始める。彼らも、「奴隸根性」を見せているのだ。そして、(辛亥)革命党の旗色がよいと、皆、革命党に入ろうとする。が、なぜか、阿Qは入れても

1840年代に、アメリカの作家エドガー・アラン・ポーが「いじめる側」の心理――人間が自分より弱い者を見つけ支配することで優越感という快感を得、自分に自信をもつて――をいち早く描いたが、魯迅が描いたのは「いじめられる側」がはけ口として示す心理――強者に媚び、弱者をいじめる「奴隸根性」――だつたと

言える。そして、中国が中・高等学

校の教科書にこれらを取り入れると

いうことは、子供たちに早いうちに

人間のもつこの悪弊、畜生根性を指

摘し、予防教育を期しているとはい

えまいか。

創立者は、「人間の心の葛藤を表

現しようとしているのが、文学なの

〔参考文献〕

『阿Q正伝』魯迅 増田涉訳(角川文庫) *『狂人日記』も収められ

ている。

創価大学創立者池田大作先生 特別文化講座(学校法人創価大学)

『池田大作語録 人生の座標』池田大作(グラフ社)



特集 AVライブラリーのご紹介



Q AVライブラリーの特徴は？
が多いのですか？

DVD視聴ができるスペースが広く、語学学習のためのCD・図書を多く所蔵しています。語学教材は、学習レベル別になっているものもあります。

Q どのような利用者

質問にも答えていますし、教材のアドバイスもしています。以前、アドバイスをした学生さんがみえて、その通りに勉強したら留学に行けることになります。た！とうれしい報告をいたいたこともあります。

CALL 2では、DVD利用方法としては、世界の様々な物語を読んで、語学の向上を目指しています。また、語学の向上を目的に留学をしたり、授業に活用するために利用される方が多いです。

Q どのような利用者

主に、語学力を高めることを目的に留学をしたり、授業に活用するために利用される方が多いです。

語学に関する教材・施設が充実！



英字新聞の読み比べやグループでのDVD視聴もできます。



グループでDVDを見ながら、英語をゲーム感覚で学べる教材もあります。



わかりやすい教材をご案内し、他の方の体験を話して自信を持つて頂いています。丁寧にお話を伺い、アドバイスをさせて頂きますので、ぜひカウンターまでご相談ください。

Q どのような方に利用してもらいたい

人に良かつたね!!と声

聴の操作方法・CDの

D映画を観ながら英語の発音練習をされています。そのほか、「週刊ST」、「NIKKEI」、「ASAHI」等の雑誌や英字新聞を読んで勉強されています。

**Q 語学が苦手な方に
は敷居が高い（入りにくい）のでは
はありませんか？**

語学が好きで向上させたい方、留学を目指している方、また苦手な方、初めて英語に取り組む方や教材に迷っている方などにも来ていただきたいです。

Q ここ数年で、利用者数など変化しましたことはありますか？

いつも清掃・整理・整頓をして、利用者の皆さんに気持ちよく使っていただけるよう�습니다。

また、資料の保存環境を整えるために、部屋の温度・湿度に目配りしています。

カウンターにいても部屋全体をみて利用者が快適に学習できるよう常に心配りをしています。

そのほか、DVD視

カウンターで
聞きました！



図書館からのお知らせ



第7回 読書展が行われました



十月七日・八日に行われた創大祭で、S R P (Soka Reading Project) 主催の読書展が行われました。

今回の展示「なぜ本!!」～じんと来い活字文化復興～は、活字復興部門、親子向け部門、偉人部門の三部門に分けて行いました。

S R P メンバーそれぞれが「なぜ本を読むのか」「読書とはどういうものなのか」を考えて制作し、展示をご覧

になつた皆様に「読書をする理由」について考えて頂ける展示を目指しました。

た。

活字復興部門では、従来の書籍と近年注目されている電子書籍との比較を行い、所蔵図書の紹介を「創立者」「文学」「ビジネス」「自然」「暮らし」「秋」の6つの項目にわけて行いました。ご来場者の中には、熟読されている方もいらっしゃいました。

親子向け部門では本の読み聞かせや絵本・児童図書の展示を行いました。親子で絵本を楽しむ様子が見られました。

偉人部門では、トマス・エジソンや樋口一葉、竹中半兵衛などの歴史上の人物に関連した図書を展示しました。各地から多くの方々にご来場いただき、創大祭とともに楽しんで頂けた読書展となりました。



→創立者著作図書展示の様子



→読み聞かせの様子。



→活字復興部門。
手作りのPOPに力が入っています！

S R P
参加者募集中
です

